

# 再選 遠藤市政3期目へ

矢板市長選挙は4月8日(日)市内20カ所の投票所で投票が行われ、即日開票され、遠藤忠市長が再選を果たしました。3期目を迎え、矢板市のかじを取る遠藤市政がスタートしました。

## さらなる市政の改革へ

2期8年を務め、3期目を目指した現職の遠藤市長と新人の桜井恵二氏との12年ぶりとなる選挙が4月8日(日)に行われ、遠藤忠氏が再選を果たしました。

## 子育て環境日本一

翌9日(月)、市役所において市選挙管理委員会、瀧田征雄委員長から当選証書が付与されました。

17日(火)には、市役所前で大勢の市民や市職員に迎えられ初登庁しました。その後就任式に臨み、「自治体を取り巻く環境は非常に厳しいが、第2次矢板市総合計画の着実な実施と子育て環境日本一を目指し、職員の皆さんとともに力をあわせていきたい」とあいさつしました。



えん どう ただし 市長 遠藤 忠

### Profile

昭和15年、矢板市生まれ。宇都宮大学教育学部卒。県立高等学校教員、旧藤原町教育長、県立大田原高等学校長、平成12年矢板市教育長、平成16年から矢板市長  
妻、長男と3人暮らし。71歳  
毎朝のジョギングが趣味

## 就任にあたって



このたびの市長選挙におきまして、多くの市民の皆さまにご支援をいただき、3期目の市政のかじを取らせていただくことになりました。第2次総合計画がスタートして2年目の重要なこの時期に大役を任せられた今、責任の重大さを改めて痛感し、身の引き締まる思いです。

この選挙を通じて多くの市民の皆さまと接し、話を聞く機会がありました。それをきちんと反映し、「誠実な行政」を行わなければならないと強く実感いたしました。「子育て環境日本一」を目指すことやシンクタンクの設置などの実現はもちろんです。すべての政策を市民の視点に立ち、協働のまちづくりを推進していくことが、矢板市の発展に大きく関わるものと思っております。また、行財政改革も避けて通ることはできません。不要不急な事業を検証し、健全な財政運営に努めてまいります。

矢板市の「主役」は、市民一人ひとりの皆さまです。

矢板市の明るい未来の創造のために全力を尽くしてまいりますので、今後とも、市民の皆さまのご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成24年4月

矢板市長

遠藤

忠



### 矢板市長選挙結果より

投票率・・・63.94%  
(男62.39%、女65.47%)  
当日有権者数・・・28,237人  
(男13,944人 女14,293人)  
投票者数・・・18,056人  
(男8,699人、女9,357人)